

テーマ	講師	主な担当授業科目	講義内容	備考
子どもと教育について考える	後藤 恭子	教育原理、キリスト教倫理学	子どもと大人はどう違うのか、また「人間は教育によってのみ人間になることができる」(カントのことば)とはどういうことか、一緒に考えてみましょう。	
乳児期の成長・発達とその援助	中島 紀子	保育原理、乳児保育	人は誕生してからいろいろな学習をします。乳児期の子どもも、私たちが考える以上の成長・発達をとげ、さまざまな学習をしています。乳児期の成長・発達とその援助について分かり易くお話ししたいと思います。	
家族社会学とエディプス・コンプレックス	酒井 一郎	家族援助論、保育内容(言葉)、英語	家族の場で、たとえば父と母と子の関係において、メンバー間に働きあう力関係を見つめることで、できるだけ労苦やストレスのない生活のあり方を築いていこうとするには、どのような工夫があるか、検討します。	
子どもと睡眠	田中 修志	保育内容(健康)、体育(理論・実技)	現代日本の子ども達の多くが睡眠不足だと言われています。発達途上にある子ども達にとって、睡眠不足は心と身体に悪い影響を与えているようです。子ども達にとって良い睡眠とは何かを一緒に考えてみたいと思います。	
乳幼児の身体表現活動	大上 紋子	基礎体育、保育内容(身体表現)、レクリエーション	乳幼児の身体活動は月齢や年齢によってさまざまです。保育者を目指す者にとって、それぞれの時期に合った遊びを選択したり、応用する能力はとても大切です。実際に子ども達の遊びを体験してみましょう。	運動ができる服装をお願いします
乳幼児の造形表現活動	松井 寿美子	保育内容(造形表現)、基礎図画工作	乳幼児の造形表現活動は、心身の発達と深くかかわっています。造形的な表現の芽を感じ取り、それを豊かに育むための望ましい援助について考えます。	
音楽表現 ～音楽の役割って?～	矢野 加代	音楽実技、保育内容(リズム表現)、施設実習	乳幼児の音楽表現活動への援助や教材の工夫について一緒に楽しんでみましょう。①赤ちゃんを泣きやませる音楽? ②手作り楽器で遊んでみよう	
保育における音楽パフォーマンス ～子どもの表現力を高める～	藤井 澄子	音楽実技、保育内容(リズム表現)、教育実習	子どもは感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現力を養います。では、保育者はどのようにして子どもの表現力をつけていくのでしょうか。ちょっと体験してみましょう。	
乳幼児にとって音楽とは ～保育者とのコミュニケーションの大切さ～	日野 幸子	音楽実技、基礎音楽	乳幼児は、「音」に対してとても敏感です。この大切な時期、保育者との楽しい音楽体験が「音楽を感じる心」を育てていくことに繋がります。講義では、手遊びや簡単な音楽遊びなどを交えながらお話しします。	ぬいぐるみパペット、たまごシェーカー、ベル、ラジカセ、キーボードなどを必要に応じて使用します。
基礎音楽概説	五十嵐 雅子	音楽実技、基礎音楽	保育者をめざす人にとって必要な楽譜の読み方・音符と休符・音楽用語・初歩の音楽理論などについて平易に説明します。そのほか、保育学科で行われている音楽実技の中での「ひきうたい」やピアノ伴奏の要点について説明します。	ピアノが必要です。
名曲を生演奏で聴こう	西山 洋美	音楽実技、基礎音楽	普段テレビ等で何気なく聞いている曲を実際の生のピアノ演奏で聴きます。曲についての解説を聞きながら、名曲に触れるひとときを楽しんでみましょう。	ピアノが必要です。
ハモル合唱づくり ～音程論～	三好 幸夫	音楽実技、アンサンブル	和音をきれいにハモらせることは、一見感覚的な問題のように思えますが、実は数学的にきちんと割り切れます。ただし、その前に声をしっかりと出す必要があるため、発声の方法についても学習します。	ピアノが必要です。